

令和４年度 第１回 市役所庁舎及び市立安芸中学校跡地活用検討委員会 議事録

- １．日 時 令和４年８月２９日（月）午前９時３０分～午前１１時３０分
- ２．場 所 安芸市役所 第１・２会議室
- ３．内 容 これまでの振り返り
跡地活用ワークショップ（前半：市役所庁舎、後半：市立安芸中学校）
- ４．委 員
（１）委員

氏名	所属等	備考
坂本 淳 （委員長）	高知大学 理工学部	出席
山本 諭	安芸商工会議所	出席
佐藤 正	安芸本町商店街振興組合	出席
小松 身伸	安芸市観光協会	出席
大西 敏文	四国銀行株式会社 安芸支店	出席
小松 梢	矢ノ丸保育園（社会福祉法人ふるさと自然村）	欠席
松田 秀樹	安芸市社会福祉協議会	出席
中川 洋文	安芸市消防団本部	出席
川竹 壽栄	高知県農業協同組合 安芸地区	出席
山手 敏和	公募市民	出席
仙頭 ゆかり	公募市民	出席
本田 浩一郎	高知県都市計画課	出席
竹部 文一 （副委員長）	安芸市	出席
藤田 剛志	安芸市教育委員会	出席

（２）事務局

大野 崇	企画調整課長
中川 亮	企画調整課長補佐兼企画係長
北村 将嗣	企画調整課主幹

５．配布資料

- 資料１ これまでの振り返り
資料２ 跡地活用の方向性について（ワークショップ開催にあたって）
資料３ ワークショップの進め方

６．議 事

事務局

欠席委員及び交代のあった委員の報告

《事務局 あいさつ》

《事務局から資料 1、2、3 に基づき、議事 1 を説明》

《委員によるワークショップ形式による意見交換》

7 人ずつのグループに分かれて、「市役所庁舎及び市立安芸中学校跡地活用に関して自由にアイデアを出す」をテーマに、両施設に関して各 50 分間、グループごとでワークショップを行い、その後に集約した意見を出し合った。

《各グループ発表》

【市役所庁舎】

〈A グループ〉

市役所跡地は、事務局がこれまで検討を重ねる際に用いた資料でもまとめていましたが、この場所の活性化をテーマに考えました。また安芸市の都市計画マスタープランなど、各種計画がありますけど、そこから逸脱しないような形で皆さんと意見交換を行い、内容をまとめています。商業面での活用におきましては、水産加工の直売所があれば良いと言った意見や、ショッピング施設を収容できれば良いという意見、行政機能や福祉一体となった複合施設など、多くの意見が出ました。また、こういった複合施設においても、防災機能を兼ね備えた設備環境を整えることも必要であることやネット環境を備えたオフィスやネットフリースペース、ワーケーションもできる施設などの意見がありました。

その他にも、安芸市には宿泊施設が少ないことから、宿泊機能を望む意見もあり、これらを集約して複合的な商業施設ということでもまとめました。

また、文化面での活用では、文化施設の集約という観点からも図書館が挙げられています。図書館は、知的好奇心を育む非常に大切な施設であると考えており、当該施設が充実した内容であれば、子育て中の親子も図書館に行くことで色々なことが調べられるため、この観点は大事だと思います。安芸市は「歴史と文化が香るまち」を PR していることから、やはり図書館がしっかりした建物であって欲しいという委員の皆さんの思いからも意見が多く出ていました。また併せて市民会館の集約化への意見もあり、これは交流スペースやイベントスペースの確保につながっています。

最後に、交流面での活用におきましては、駐車場スペースや緑地などを備えた市民が集える公園整備のほか、筋トレジムや健康ジム、ドローンの練習場所、避難タワー、子育てが楽しくできるような相談も行える交流スペースなどの活用案が出ました。

また、これまでの活用案を踏まえたうえ、民間活力の活用として売却貸付の意見がありました。

民間活力を活用する際に条件としまして、安芸市の特性を考えたとうえで魅力を最大限アピールできるよう活用案を提案できる事業者であれば、売却貸付をしたいというふうな意見も出ていました。

また、繰り返しになりますが、活用の際にはすべてにおいて防災機能を備えたうえで、これまでのような商業・文化・交流を深められるような跡地活用になれば良いという結論になりました。

〈B グループ〉

グループで話し合った結果として、市役所の跡地活用イメージでは、大きく分けて、商業・飲食・文化イベントと防災、その他の分類になりました。

商業面での活用では、直販所として地場産品等を総合的に展開できたら良いのではという意

見がありました。それに関連して、市民や市外から安芸市へ来た人が飲食をする場所が少ないという声もあり、これに対してひろめ市場のような場所ができることで、訪れた人の滞在等が生まれるのではないかという意見がありました。

また、文化イベントの活用では、これは色々と重複しますが、現在の市民会館、図書館の立地性のことを考え、まちの中心付近に文化的なイベントができるようなイメージとして、文化要素となる市民会館と図書館を併設した複合施設も面白いのではないかという意見がありました。

防災に関連する意見については、防災に特化した建物というよりも、一時的な避難を可能とし、3日間ほど滞在できるような設備を最低限備えた施設である必要があるとの意見がありました。

行政サービスについては、市役所跡地で行政窓口機能を備えなくてはいけないということではなく、郵便局等やその他の機関において、どこでも対応が可能となる体制になれば当該建物にそういった機能を備える必要はないのではないかという意見が出ました。

これら以外の活用案としまして、まちの中心地という立地環境を鑑み、サテライトオフィスとして活用する案なども出ていました。

私の考えも含めてになりますが、当該場所はまちの歴史を刻んでおり、本町商店街とこの場所と駅を近距離で結ぶ重要な位置関係にあり、こういった昔ながらの環境を大事にしていけばという視点と北側に移転した新庁舎周辺も活かしながら、両箇所を最大限連携させて地域の活性化につなげていければと思います。

【市立安芸中学校】

〈Aグループ〉

中学校の跡地は、魅力的な場所として活性化していこうという目的意識を持って話し合いました。

商業での活用として、デジタルオフィス、貸しオフィスなど、特に起業家の方を支援するためにも貸しオフィスが必要だと考えます。また、起業家の事業定着に向けても、ワンクッション置くという視点から、軌道に乗るまでチャレンジショップを利用できるように仕組みをつくり、本格的な起業につなげるとともに、その先に移住促進にもつなげていければという意見が出ました。

観光面については、道の駅の機能を兼ね備え、かつさらに魅力を高めた施設を整備できればという意見がでました。また、宿泊観光においては、宿泊施設が安芸市には少ないため、民宿の代替となる宿泊施設、あるいは移住促進の観点も含めて、移住者がお試しで泊まれる場所もあったら良いのではという意見がありました。

文化面においては、文化施設や研修施設として活用を検討し、例えば、三菱グループの社員さんが毎年安芸においでくださいますが、その際に企業の研修が出来る場所を含めたものがあれば良いのではという意見がでました。

スポーツ面については、市役所跡地とも重複するところが出てくる所がありますが、スポーツ施設やトレーニングジム、スポーツの合宿施設、キャンプ用施設としても活用できればと話をしていました。

教育文化におきましては、学校教育施設として活用を検討し、教育旅行で多くの団体が訪れておりますので、そういった方達にも使ってもらえればいいなと話し合いました。また、体験学習の場でもあることから、遺跡や昔の住居の発掘などの体験場としての活用も検討しました。

その他、子育てについての交流の場や多世代交流の場として活用できるように取り組み、併せて地域住民のコミュニケーションの場としても活用できるようにできればと意見がありました。ペットがいる家庭に対し、ドッグランを設けるなど、安芸市のファンをさらに増やして、

魅力的な中学校の跡地にできればいいなという意見が出ました。また、これらはすべてが防災機能を兼ねるというところも大事な所です。

〈Bグループ〉

中学校跡地の活用意見では、スポーツ面・イベント面・観光面・文化面・その他となっております。

スポーツ面での活用では、400メートルトラックを現在の安芸中学校でできないだろうかというおもしろい意見があり、建物の一部を除けば可能ではないかという提案がありました。その提案の根拠としては、野球関連の施設は安芸市にあることから、それ以外のスポーツ振興として、サッカーや陸上など、これらの方面を充実させたらいいのではないだろうかということを検討しました。また、近年での大学野球や合宿等が行われる際、100人近くの規模となることから、一箇所で泊まれないということが課題になっています。本市での合宿が継続して実施できるように整備することとし、スポーツ合宿や民間会社の研修とかも含めるなど、1年間を通して様々な団体等が宿泊できるような施設となれば、十分活用が可能であるのではという意見がありました。

一方で、市役所跡地の活用策と重複しますが、市立安芸中学校での文化面での活用で、図書館の移転の意見がありました。

また、イベント広場として、いくつものイベントを開催できたらという意見があり、また文化面において、書道高校生大会や吹奏楽、演劇といった分野における全国大会等を企画し、安芸中学校跡地でそれが展開できればという意見がありました。

観光面のその他になりますが、近年での手ぶらで来ることができるグランピングなどは、今どこでも取り入れているところは多いですが、客層からいうとキャンプ用品をしっかりと自分で調達しており、本格的に自然の中でキャンプを楽しんでいる人がいらっしゃいます。しかしながら、人気であるのは、手ぶらで来て、少々お金出してもいいので手軽に楽しく、日常と離れた宿泊をしたいという人が増加傾向にあるとのことから、これらを安芸中学校で実施できるようになれば、良いのではないかという意見もありました。

観光面の活用案として温泉施設の意見が出ており、1キロくらい掘ったら出るのではないのかという提案がありました。

私個人の意見も含めますが、高規格道路の延伸が着々と進んでいます。その高規格道路ですが、安芸中インターチェンジのすぐ南側には中学校跡地が立地していることから、ドライブ中の運転手の方の関心を引き付ける道の駅のような機能を整備できればと考えています。

様々な意見が出ており、市役所跡地と中学校跡地の活用イメージが重複するところが多々ありますが、こういった意見が多く出ていることから委員の皆さんにおいても跡地活用を見据えた両施設の利活用による新たな魅力創造に目を向けております。

〈ワークショップの総括〉

委員長

皆さん、今日はお疲れ様でした。1年前に実施しました市民の方対象のワークショップでも参加者の方が色々な意見を話し合ったことがありました。そのことがありましたので、この形式でしたらスムーズに話がまとまるのではないかと考えており、その後の検討委員会でも感じていましたが、やはり説明する側と質問する側に分けられると、対立といいますか、空気が違っていったかと思います。私にそういった経験がありましたので、進め方を考えないといけないということで、昨年度の3月開催しました検討委員会でも話に出ておりましたが、1度委員の皆さんの中でワークショップを行うことで、自発的に色々と活発な議論ができるのではないかと

ということを事務局とも話を行い、今回の結果としてまさに目論見通りのまとめができたのではないかと考えています。

はっきり言いますと、市役所跡地に関しましては、市民を対象にした内容が多いような印象を受けます。例えば、文化や交流スペース、商業、イベントなど市外の方々に対してもですが、日常的な利用に着目したところが多いかなと思います。一方で、安芸中学校跡地に関しましては、非日常の内容が多いような印象を受けます。市外、県外の方々に対しての意識を向けており、スポーツ合宿等や観光面、さきほどの発表の中でもありましたインターチェンジを下りてわざわざ行くということも市外から訪れる方に対応しているようなイメージを持っているかと思われそうです。

今回話し合われました意見も、各施設・場所によってコンセプトが違っており、どちらかといいますとこれまでに出来た意見よりも具体的に現実的な提案ができているという印象を持ちました。

あと方針が出た後の話になりますが、これは私の出身地の話ですが、以前は営業していた百貨店が10年前に閉店をしまして、それ以降は建物をずっと放置されていました。一つの要因としましては、色々な意見もありましたが、この合意形成ができなかったことがありまして、私としても心残りになっていました。

その後、地元の市役所のほうでも跡地活用を検討しておりましたが、ずっと誰も手付かずの状態が続いていたため、やはりこのままでは残念かと思うので、出した意見はある程度スピード感を持ち、すぐに取り掛かるような形で活用されれば、タイムラグなく、良い形での活性化されたスペースになるのではないかと思います。

今後、事務局が今回のワークショップを元にした方針案のたたき台を示されるかと思いますが、そこでブラッシュアップさせながら、今年度末までを目標に、方針案を最終的にまとめていければよろしいかなと思います。跡地検討準備委員会から私も関わり、もう4年目になりますが、今のところ大詰めに向けて煮詰まってきたと思っていますので、最終の方針に向けてまた皆さんのお知恵をお借りできればと思います。

以上になります。

《議事終了》

事務局

本日は様々なご意見をいただき、ありがとうございました。

次回の検討委員会につきましては、11月下旬を予定しております。その際に本日の発表いただきましたアイデアをまとめまして、報告書案のたたき台をご提示させていただきます。それでは、本日の委員会はこれで終了とさせていただきます。委員の皆さん、ありがとうございました。

《閉会》